

ボランティアネットワーク通信

2024年6月
能登半島地震版 2

NPO法人
ボランティアネットワーク
茨城県古河市水海三〇一九
Tel 0280-23-1441
090-3097-4640
Fax 0280-23-1446

この度の『能登半島地震』で被災されたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当会はこの半年で、能登半島における活動を、14回行ってきました。

被災者が生活している地域に至る「道」そのものに甚大な被害が出ているため、生活支援・復興支援いづれもがとどこおり、復興までの道のりは遠く険しいものとなっています。

被災者が生活している地域

に至る「道」そのものに甚

大な被害が出ているため、生

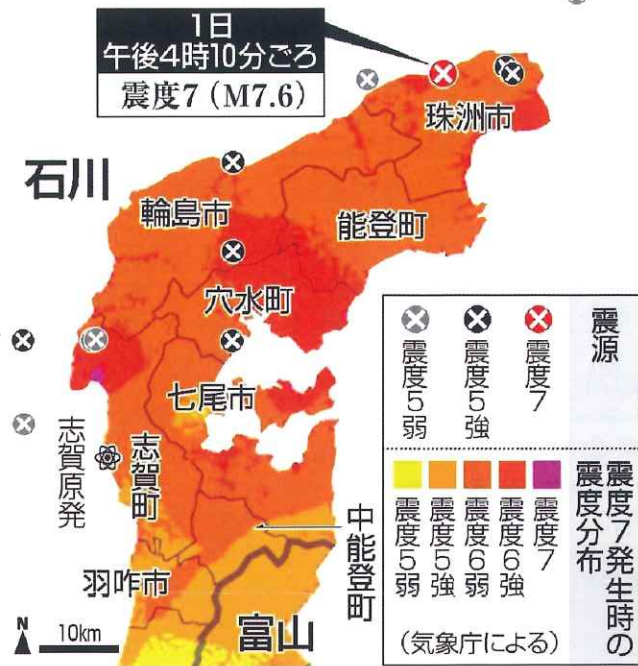
活支援・復興支援いづれもが

とどこおり、復興までの道の

りは遠く険しいものとなっ

ています。

能登半島地震の主な震源



『令和6年能登半島地震』とは、2024年1月1日に、石川県能登半島北東部を震源として発生した、マグニチュード7.1、最大震度7(輪島市・羽咋郡)の地震、ならびにその前後に発生した一連の群発地震を指す。



3月の輪島市内。陥没部分は埋められているが、ただ走るだけで車軸がゆがむほどの悪路だ



それでも私達は、できる場所で、できることを、できる限りで活動してまいります。

ここに、私達の活動の報告を通して、現在の能登半島の状況をお伝えたいと思います。



支援活動の軌跡



当会では震災の様々な情報を整理しながら準備を整え、北陸の真宗大谷派（東本願寺の僧侶）有志の方々と協力して活動を開始しました。

そして1月から6月までの活動において、5カ所の避難所をまわり、炊き出しを行なってきました。

そのすべてが、キッチンカーによる温食の炊き出しを中心にしたものです。



1月29日 珠洲市
たこじま
蛸島保育所避難所

最初に足を運んだ先は、能登半島東北の端・珠洲（すず）市です。一月末の珠洲市は、道路こそ通行可能ですが、崩壊した家々があちこちに散見されました。

私たちは旧・蛸島保育所跡にて、野菜ラーメンやおでんなどの温食、肌着などの物資の配布を行いました。



《現地の声》

「2007年の地震、去年・一昨年と地震が続き、そのたびにまだまだ頑張れるとなんとか踏ん張ってきたけど、今回の地震でもう心が持ちそうもない。
そんな中、遠くから温かい物を届けてくれる方々がいるから、もう一度踏ん張れる力がもらえます」

活動地図



1月30日 輪島市
もろおか
諸岡公民館避難所

翌日は輪島市の西の端・諸岡公民館です。

こちらでは、温かいけんちんうどん・おでんと、様々な物資を配布しましたが、やはり震災の心的外傷は深いようです。



	月日	支援活動の場所
1	1月29日	蛸島(たこじま)保育所避難所(珠洲市)
2	1月30日	諸岡(もろおか)公民館避難所(輪島市)
3	2月13日	正院(しょういん)小学校避難所(珠洲市)
4	2月14日	諸岡(もろおか)公民館避難所(輪島市)
5	2月26日	波志借(はしかり)集会所(穴水町)
6	2月27日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)
7	3月12日	波志借(はしかり)集会所(穴水町)
8	4月24日	波志借(はしかり)集会所(穴水町)
9	4月25日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)
10	4月25日	諸岡(もろおか)公民館避難所(輪島市)
11	5月14日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)
12	5月15日	正院(しょういん)小学校避難所(珠洲市)
13	6月4日	正院(しょういん)小学校避難所(珠洲市)
14	6月5日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)

《現地の声》
 「輪島朝市が炎上しているのを、子供が見ていました。もう輪島には住みたくないうり返りたくないと言われた」
 「あの炎上した光景を思い出すと涙が出て、夜も眠れない」



輪島朝市の焼け跡



2月も活動は続けます。
 今回は蛸島保育所跡の近くの、正院小学校の校庭です。
 この小学校では1階と2階が避難所で、3階では小学校の授業が始まっています。

2月13日 珠洲市
 しょういん
正院小学校避難所

グラウンドには、ようやく仮設住宅が建ち始め、入居が始まりました。



仮設住宅(2月)



仮設住宅(5月)。内部は木材が使用され、住み心地の良い住居となっている

この仮設住宅は、平成30年(2018年)の北海道胆振東部地震で使用された仮設住宅を、こちらまで運んで組み立てたものだそうです。5月には防寒パネルが取り付けられ、非常にクオリティの高い住宅となりました。